

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

磐田市地域公共交通会議

平成19年10月17日設置

令和 5年 3月策定予定 磐田市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和5年4月～令和10年3月)

令和 3年 6月28日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和 5年 1月20日 令和4年度評価結果送付

【磐田市の概要】

■ 人口：167,538人（令和4年9月末現在）

■ 市内公共交通

鉄道：JR東海道本線（鉄道駅：3駅）

天竜浜名湖線（鉄道駅：3駅）

バス路線：7路線22系統

デマンド型乗合タクシー：8路線

【計画策定の背景】

デマンド型乗合タクシーにおいて、高齢者や運転免許自主返納者等の移動手段の確保や、利用者の増加に伴う配車の供給限界への対応方法が課題となっている。

【計画の基本的な方針】

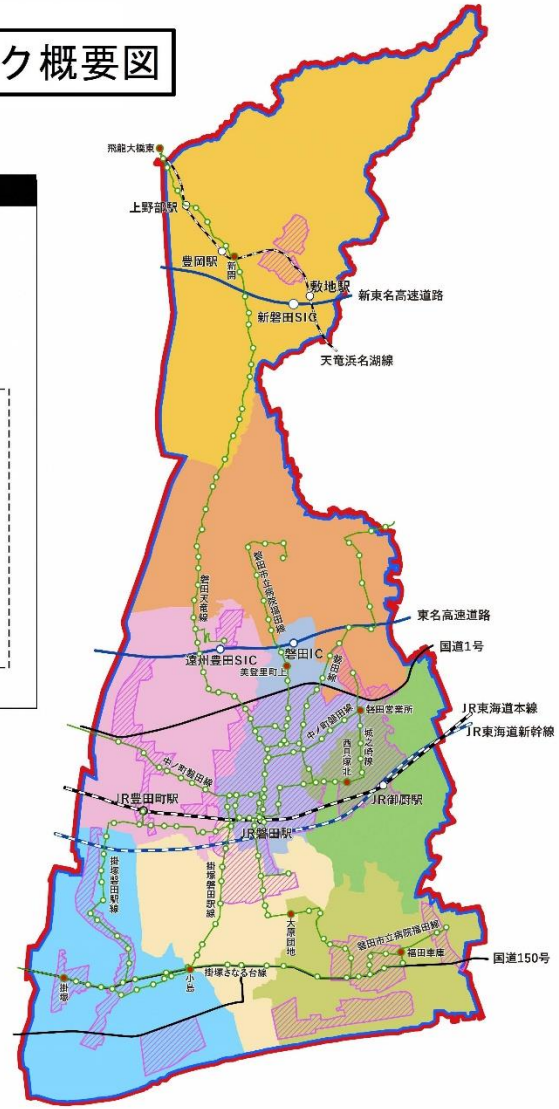
■ 暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通

目標1 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持

目標2 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持

目標3 公共交通の利便性向上と利用促進

公共交通ネットワーク概要図



2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

| 取組内容 | 取組の概要 | 実施結果 | 実施結果の考察 |
|--------------------|--|---|---|
| 1 デマンド型乗合タクシーの啓発活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サロンでの制度周知 ・ 磐田警察署の免許窓口での制度紹介 ・ 地域と協力した制度周知と登録促進 ・ 市ホームページや市広報紙への掲載 ・ 制度説明動画の市ホームページ掲載 ・ 高齢者に関係する機関と協力した制度周知と登録促進 | <p>登録者数が前年度と比較し、10.7%増加 令和4年度：10,969人 令和3年度：9,913人</p> <p>利用者数が前年度と比較し、19.7%増加 令和4年度：40,138人 令和3年度：33,520人</p> | <p>高齢者や運転免許自主返納者への移動手段の確保に繋がっている。</p> |
| 2 地域公共交通計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通会議での意見聴取 ・ 地域公共交通庁内会議での意見聴取 ・ アンケート調査 対象：市民、公共交通利用者 等 ・ ヒアリング調査 対象：市内高等学校、福祉施設 等 | <p>公共交通に対する課題が浮き彫りになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や運転免許自主返納者等の移動手段の確保 ・ デマンド配車の供給限界への対応方法 等 | <p>将来を見据えて、地域公共交通計画に今後の方針を示すことで、持続可能な公共交通に繋がっていきける。</p> |

市ホームページへ掲載した制度説明の動画



〈福田線〉

| 指標 | 目標値 | 達成状況 | 考察 |
|------------|------|------|--------------------------------------|
| 1日あたりの利用者数 | 7.3人 | 9.3人 | 啓発活動の効果による利用登録者数の増加に伴い、目標値を2.0人上回った。 |
| 交通結節点利用者 | 246人 | 289人 | 利用者数の増加に比例し、交通結節点の利用者数も増加した。 |

〈磐田中央線〉

| 指標 | 目標値 | 達成状況 | 考察 |
|------------|-------|-------|---|
| 1日あたりの利用者数 | 27.6人 | 37.6人 | 啓発活動の効果による利用登録者数の増加に伴い、目標値を10.0人上回った。 |
| 交通結節点利用者 | 785人 | 555人 | 年齢制限に伴い、利用対象者が65歳以上の高齢者であるため、まん延防止等重点措置等の影響に伴う区域外への外出控えにより、交通結節点の利用が減少したと推察される。 |

〈参考〉 デマンド型乗合タクシーの利用状況

| 路線名 | | 利用者数 | 利用者数（1日あたり） | 交通結節点利用者 |
|-------|----|---------|-------------|----------|
| 福田線 | 前年 | 2,650人 | 9.0人 | 158人 |
| | 当年 | 2,731人 | 9.3人 | 289人 |
| 磐田中央線 | 前年 | 9,874人 | 33.7人 | 475人 |
| | 当年 | 11,045人 | 37.6人 | 555人 |

〈参考〉 デマンド型乗合タクシーの利用状況（全路線）

(運行期間：令和3年10月～令和4年9月)

※上段網掛け部分は前年度値

| 地区名 | 利用者数 (人/日) | 交通結節点利用者数 (人) | | 乗合率 (人/車両台数) | 全体利用者数 (人) |
|--------|---------------|------------------|--------------------------------|-----------------|---------------|
| 豊田地区 | 21.5 | 353 | ・磐田駅 ・豊田町駅 | 1.3 | 6,294 |
| | 25.5 | 420 | | 1.4 | 7,490 |
| 磐田北部地区 | 2.2 | 176 | ・磐田駅 ・御厨駅 ・磐田営業所バス停 | 1.0 | 654 |
| | 4.7 | 203 | | 1.2 | 1,372 |
| 磐田東部地区 | 17.0 | 1,612 | ・磐田駅 ・御厨駅 ・磐田営業所バス停 | 1.3 | 4,980 |
| | 22.5 | 1,819 | ・西貝塚北バス停 | 1.4 | 6,601 |
| 磐田南部地区 | 12.4 | 276 | ・磐田駅 ・豊田町駅 ・小島バス停 | 1.3 | 3,643 |
| | 14.2 | 526 | | 1.4 | 4,161 |
| 磐田中央地区 | 33.7 | 475 | ・磐田駅 ・美登里町上バス停 | 1.4 | 9,874 |
| | 37.6 | 555 | | 1.5 | 11,045 |
| 竜洋地区 | 12.7 | 458 | ・磐田駅 ・豊田町駅 ・掛塚バス停 | 1.3 | 3,708 |
| | 17.6 | 896 | | 1.4 | 5,160 |
| 福田地区 | 9.0 | 158 | ・磐田駅 ・御厨駅 ・福田車庫バス停 ・大原団地バス停 | 1.3 | 2,650 |
| | 9.3 | 289 | | 1.3 | 2,731 |
| 豊岡地区 | 5.9 | 121 | ・磐田駅 ・豊田町駅 ・新開バス停 ・飛龍大橋東バス停 | 1.3 | 1,717 |
| | 5.4 | 80 | ・豊岡駅 ・上野部駅 ・敷地駅 | 1.3 | 1,578 |
| 合計 | 114.4 | 3,629 | | 1.3 | 33,520 |
| | 136.5 | 4,788 | | 1.4 | 40,138 |

〈福田線〉

| 目標 | 計画目標の現在の到達点 | 今後の取組方針 |
|------------|---------------|--|
| 1日あたりの利用者数 | 目標値を2.0人上回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 周知啓発活動の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サロン等での制度周知 ・ 警察署と連携した制度周知 等 ■ 公共交通に関する講演会やシンポジウムなどの開催 ■ 運行内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通会議に検討部会を組織し、利用者負担額と公費負担額の評価や見直し、デマンド型乗合タクシーの運行を維持する。 |
| 交通結節点の利用者数 | 目標値を43人上回った。 | |

〈磐田中央線〉

| 目標 | 計画目標の現在の到達点 | 今後の取組方針 |
|------------|--------------------|--|
| 1日あたりの利用者数 | 目標値を10.0人上回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 周知啓発活動の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サロン等での制度周知 ・ 警察署と連携した制度周知 等 ■ 公共交通に関する講演会やシンポジウムなどの開催 ■ 運行内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通会議に検討部会を組織し、利用者負担額と公費負担額の評価や見直し、デマンド型乗合タクシーの運行を維持する。 |
| 交通結節点の利用者数 | 目標値より230人と大きく下回った。 | |

| 年度 | 二次評価結果 | 事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容) | 今後の対応方針 |
|-----|---|--|---|
| 前回 | <ul style="list-style-type: none"> 公共交通計画の策定に向け、市民や高校生、高齢者等にニーズ調査や意識調査を行い、現状把握と課題の整理を計画どおりに行っていることを評価します。 デマンド型乗合タクシーの周知啓発事業として、昨年度に引き続き、高齢者サロンでの説明や広報いわた・HPへの掲載を行ったことを評価します。 | <ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査や意識調査に基づき、市民等の移動手段の確保・維持するため地域公共交通計画の策定に取り掛かった。 高齢者や運転免許自主返納者等の移動手段を確保するため、引き続き、広報活動や利用促進に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査等を反映させ、市民等の移動手段の確保・維持し、公共交通を持続可能なものとするため、計画を策定する。 引き続き、地域、警察署、福祉関係機関等と連携、協力のうえ、制度の周知拡大に努め利用促進を図る。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 今年度の調査結果を元に、持続可能な地域公共交通サービスを実現するための計画策定を期待します。 市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市 町村・関係事業者と共有すると共に、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。 | <ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査や意識調査に基づき、市民等の移動手段の確保・維持するため地域公共交通計画の策定に取り掛かった。 二次評価結果を反映するように策定する計画内に方針を示す。 | <ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査等を反映させ、市民等の移動手段の確保・維持し、公共交通を持続可能なものとするため、計画を策定する。また、地域間幹線系統路線の運行内容等についても、関係者と協議する場を設定することを計画内に方針を示していく。 |
| 前々回 | デマンド型乗合タクシーの周知啓発の取組として、高齢者サロンでの説明や、利用促進検討会の開催等を行い、高齢者等の利用促進に取り組んだことについて評価します。 | 新型コロナウイルス感染症の影響が見通せないことを考慮し、現状実績値を目標値とする。 引き続き、広報活動や利用促進に努める。 | 地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め利用促進を図る。 |
| | 持続可能な地域公共交通サービスを実現するための計画策定を早急に検討いただくようお願いいたします。 計画策定に当たっては、現行の公共交通サービスで地域ニーズに対応できているかどうかの検証が必要です。 | 地域公共交通の維持・確保を図るため、磐田市地域公共交通計画を策定する。 | 磐田市地域公共交通計画の策定を進め、地域公共交通の維持確保に努める。 |

※前回：令和4年3月10日、前々回：令和3年3月1日

〈年間単位の進捗管理、評価スケジュール〉

| | | 計画期間 | | | | | |
|-----------------------|-------|------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|
| | | R4 (2022) 年度 | R5 (2023) 年度 | R6 (2024) 年度 | R7 (2025) 年度 | R8 (2026) 年度 | R9 (2027) 年度 |
| P l a n | 施策の計画 | 計画の策定 R5事業の検討 | R6事業の検討 | R7事業の検討 | R8事業の検討 | R9事業の検討 | 次期計画の策定 R10事業の検討 |
| | 施策の実施 | | R5事業実施 | R6事業実施 | R7事業実施 | R8事業実施 | R9事業実施 |
| C h e c k | 施策の評価 | | R4年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況 | R5年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況 | R6年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況 | R7年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況 | R8年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況 アンケート結果の確認 |
| | 施策の改善 | | 事業改善見直し | 事業改善見直し | 事業改善見直し | 事業改善見直し | 事業改善見直し |

【公共交通会議の実施状況】

- 第1回 6月 1日 主な議題：磐田市地域内フィーダー系統確保維持改善計画について
- 第2回 10月17日 主な議題：磐田市地域公共交通計画の策定について
- 第3回 12月27日 主な議題：単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年12月27日

協議会名: 磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------------|----------------------------|---|---|---|---|
| ①福田地区デマンド型乗合タクシー | 福田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行 | <p>新型コロナウイルス感染症の影響が見通せないことを考慮し、現状実績値を目標値とした。</p> <p>引き続き、広報活動や利用促進に努める。</p> | <p>A 計画のとおり事業は適切に実施された。</p> <p>〈実施事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン等での説明 ・広報いわた及び市ホームページへの掲載 | <p>B ①福田地区デマンド型乗合タクシー</p> <p>〈目標値〉</p> <p>1日あたりの利用者数 7.3人 交通結節点利用者数 246人</p> <p>〈実績値〉</p> <p>1日あたりの利用者数 9.3人 交通結節点利用者数 289人</p> <p>②磐田中央地区デマンド型乗合タクシー</p> <p>〈目標値〉</p> <p>1日あたりの利用者数 27.6人 交通結節点利用者数 785人</p> <p>〈実績値〉</p> <p>1日あたりの利用者数 37.6人 交通結節点利用者数 555人</p> | <p>地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め、利用促進を図る。</p> <p>磐田市地域公共交通計画の策定を進め、地域公共交通の維持・確保に努める。</p> |
| ②磐田中央地区デマンド型乗合タクシー | 磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行 | | | <p>※目標が達成できなかった理由 利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策として発令されたそろりスタート(R3.10.1～R3.10.14)及びまん延防止等重点措置(R4.1.27～R4.3.21)の影響に伴う区域外への外出控えにより磐田中央線の交通結節点の利用が減少した。</p> | |

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年12月27日

| | |
|-----------------------------|--|
| 協議会名: | 磐田市地域公共交通会議 |
| 評価対象事業名: | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | <p>本市の公共交通は、6つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、市内全域で運行しているデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフィーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内はもとより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。</p> <p>今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民、関係機関が役割を分担し、相互に連携・協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。</p> |